

# 平成 27 年度 学校法人 三幸学園 千葉医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 稲毛 耕

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 伊藤 誠

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと医療保育分野の学校として「医療現場で医療事務・診療録管理を通じて、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療保育分野として「相手のこうして欲しいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 平成 27 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 重点施策振り返り

・人間性を高める教育の実践 高い現場力の醸成

「相手のこうして欲しいを理解し、考え続ける人材」を育成する事を目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出できると考え、教育活動を展開してきた。学習の成果として、就職決定率、資格取得率において高い結果を残すことが出来たが、基本となる社会人基礎力の習得においても行事・課外活動等を通じて養う事ができた。

次年度は退学率の更なる減少、卒業生へのサポート支援体制の構築、課外活動・ボランティア活動の活性化等を課題として取り組む必要がある。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・教育理念・目標が明確になっていて、わかりやすい

・業務の効率化で確保できる時間を先生方にはぜひ学生指導に充てていただきたい

・アクティブラーニング、アンガーマネジメントなど教員の指導力向上のための研修を実施している点が評価できる。

・就職決定率が高く、業界内就職できている点が評価できる

・診療情報管理士資格等各資格の取得率が高い点が評価できる

・退学率の低さは学校としての評価において重要視される項目なので、退学者の低減への取り組みは今後必要

・スキルとしてコミュニケーション術や親和性、人間性を高めるためには授業以外の学校行事や課外活動の経験が重要と思われるので、ボランティアなど積極的に参加できる状況を作してほしい

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

| 【評価項目】   | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |
|--|------------------------------|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか) | ④ 3 2 1                      |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか                   | 4 ③ 2 1                      |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか      | 4 ③ 2 1                      |
| 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか   | 4 ③ 2 1                      |

#### ① 課題

- ・保護者、生徒への学校の理念・目的・育成人材像・将来構想の浸透
- ・業界の動向・ニーズを把握し、それに基づき教育目標や教育育成像を設定していく精度を高める

#### ② 今後の改善方策

- ・ミッションビジョンポスターを校内掲示し視覚から浸透させる
- ・病院訪問を更に積極的に行い現場の話を聞きだす
- ・収集した情報を多面的に評価し、教育課程の編成に活用していく仕組みを構築する
- ・産学連携の強化

#### ③ 特記事項

- ・教育理念、目標、人材育成像を体系化し全教職員への浸透を図っている
- ・三幸学園の原点「あきらめない教育」を小冊子化し配布、全教職員に浸透している

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・教育理念・目標が明確になっていて、わかりやすい
- ・生徒に対して校内ポスターなど理念・目的など浸透のための施策を行っているのは評価できる
- ・理念、目標、育成人材像を全教職員に浸透させる取り込みを今後も続けて欲しい
- ・業界ニーズを常に把握するためにも業界との連携を密にする必要がある
- ・学生時代に常に指導して頂いた「挨拶」が名前を覚えて頂くためにも役に立っている
- ・業界のニーズとしては、知識よりも誰にでも感情を出さずに対応が出来る人物が求められている

## (2). 学校運営

| 【評価項目】                                   | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |
|--|------------------------------|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか                     | ④ 3 2 1                      |
| 事業計画に沿った運営方針が策定されているか                    | ④ 3 2 1                      |
| 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | ④ 3 2 1                      |
| 人事、給与に関する制度は整備されているか                     | ④ 3 2 1                      |
| 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか           | ④ 3 2 1                      |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | 4 ③ 2 1                      |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか                  | ④ 3 2 1                      |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 4 ③ 2 1                      |

### ① 課題

- ・情報システム化により業務の効率化をさらに推し進める
- ・業務の効率化をさらに推し進め、教職員のワークライフバランスの浸透を図る

### ② 今後の改善方策

- ・グループウェアの効果的な活用方法の理解・促進

### ③ 特記事項

- ・年6回、定期的に全教職員・講師に向けて会議を実施し運営方針の浸透と情報共有を積極的に行っている

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・問題なく学校運営がなされていると感じる
- ・業務の効率化で確保できる時間を先生方にはぜひ学生指導に充てていただきたい
- ・運営方針の浸透、情報共有を定期的に行っている点は評価できる
- ・引き続き適正な学校運営を行って欲しい

### (3). 教育活動

| 【評価項目】   | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |
|--|------------------------------|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                                  | ④ 3 2 1                      |
| 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ 3 2 1                      |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか  | ④ 3 2 1                      |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか               | 4 ③ 2 1                      |
| 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか                | 4 ③ 2 1                      |
| 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか          | ④ 3 2 1                      |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか   | ④ 3 2 1                      |
| 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか  | ④ 3 2 1                      |
| 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか   | ④ 3 2 1                      |
| 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                                 | ④ 3 2 1                      |
| 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                             | ④ 3 2 1                      |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか       | 4 ③ 2 1                      |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか        | 4 ③ 2 1                      |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか   | 4 ③ 2 1                      |

#### ① 課題

- ・キャリア教育を推し進めるために社会ニーズに沿ったカリキュラム・教育方法を開発する
- ・授業評価、実習先評価の精度向上と教育への反映
- ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われていない

#### ② 今後の改善方策

- ・提携企業との連携を強化し授業科目の開設と授業方法の改善・工夫を行う
- ・授業評価における評価項目の見直しを実施し教員の質を向上させる
- ・産学連携、現場に足を運び直接話を伺う

#### ③ 特記事項

- ・平成 27 年度より学生による授業評価の見直しが完了。また、実習先(企業)と実習生(学生)による相互評価を実施している。
- ・教員指導力向上のための研修(アクティブラーニング研修、アンガーマネジメント研修)を実施している。
- ・2016年4月教育開発部設置やトライアクションの実施により主体的な生徒の育成、また教員の統一した指導・教員指導力向上が期待できる

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・4週間の実習期間は妥当感じるので今後も続けて欲しい
- ・1ヶ月は長く感じたが、勉強になったと卒業生から声が上がった
- ・アクティブラーニング、アンガーマネジメントなど教員の指導力向上のための研修を実施している点が評価できる。
- ・医療法や診療報酬の改正などにより、現場で求められる法規的知識も変わっていく。学校においては即対応できるように業界との密な連携が不可欠である
- ・授業評価の実施・評価体制が整っている点が評価できる

#### (4). 学修成果

| 【評価項目】                                | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |   |   |   |
|---------------------------------------|------------------------------|---|---|---|
|                                       | 就職率の向上が図られているか               | ④ | ③ | 2 |
| 資格取得率の向上が図られているか                      | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 退学率の低減が図られているか                        | 4                            | ③ | 2 | 1 |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 4                            | ③ | 2 | 1 |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4                            | ③ | 2 | 1 |

##### ① 課題

- ・退学者の低減
- ・卒業生の社会的活躍の情報収集と教育活動への反映
- ・卒業生のセカンドキャリアサポートが不十分

##### ② 今後の改善方策

- ・資格取得への動機づけの強化及び環境面への整備  
教科間同士の連携
- ・退学者プロジェクトに基づき、クラス報告会の実施と退学防止事例の共有を実施
- ・同窓会サイトSANKO LINK を活用し卒業生の情報を把握

##### ③ 特記事項

- ・就職実績のある病院へ訪問し、卒業生の状況をヒアリングして在校生の育成に生かす

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・就職決定率が高く、業界内就職できている点が評価できる
- ・診療情報管理士資格等各資格の取得率が高い点が評価できる
- ・卒業生講話や業界講話による就職指導は評価できる
- ・退学者の少ない上級学校を高校側としては勧める傾向にあるので、更なる退学者減少への方策を講じて欲しい。

## (5). 学生支援

| 【評価項目】                                  | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |
|---|------------------------------|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか                  | ④ 3 2 1                      |
| 学生相談に関する体制は整備されているか                     | ④ 3 2 1                      |
| 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか               | ④ 3 2 1                      |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | 4 ③ 2 1                      |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | 4 ③ 2 1                      |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                     | 4 ③ 2 1                      |
| 保護者と適切に連携しているか                          | 4 ③ 2 1                      |
| 卒業生への支援体制はあるか                           | ④ 3 2 1                      |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか               | 4 ③ 2 1                      |
| 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | ④ 3 2 1                      |

### ① 課題

- ・保護者との連携は問題行動のある生徒に偏る傾向がある

### ② 今後の改善方策

- ・定期的な保護者との連携を強化(学校行事見学、保護者通信の送付)
- ・更なる卒業生との連携強化を図るため同窓会サイトSANKO LINK を活用する

### 特記事項

- ・平成28年4月から担任が4月中に保護者に挨拶の電話掛けを行っている
- ・カウンセリングルームを設置し整備はできているがまだまだ活用ができていないためカウンセリングルームを周知させる
- ・飛鳥未来高校にて「職業理解のためのガイダンス」を実施している
- ・千葉県専修学校各種学校協会主催「千葉県仕事の学び場」事業(専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン)に参加

### ③ 学校関係者評価委員会コメント

- ・高等学校とのキャリア教育への取り組みは評価できる
- ・就職や学校生活の支援体制を十分に整えられていると思われる
- ・保護者との連携については、行事見学などを活性化させてはどうか
- ・卒業生に対してキャリアアップにつながる講座を開講して欲しい

## (6). 教育環境

| 【評価項目】                                     | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |   |   |   |
|--|------------------------------|---|---|---|
|  | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか           | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 防災に対する体制は整備されているか                          | ④                            | 3 | 2 | 1 |

### ① 課題

- ・更に質の高い教育を目指し、教育環境・体制を整備する
- ・施設、設備は整ってはいるが、活用があまりできていない

### ③ 今後の改善方策

- ・防災への啓蒙活動を強化する
- ・教科の先生方と相談し、メディカルルームを使用する実践的な授業を更に取り入れる

### ③ 特記事項

- ・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・メディカルルームなど十分な施設設備が備えられている
- ・実習先については在校生全員が実施できるように開拓している事は評価できる
- ・防災に対する備えも出来ているように見受けられる



## (7). 学生の受入れ募集

| 【評価項目】                      | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |   |   |   |
|-----------------------------|------------------------------|---|---|---|
|                             | 学生募集活動は、適正に行われているか           | ④ | 3 | 2 |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 学納金は妥当なものとなっているか            | ④                            | 3 | 2 | 1 |

### ① 課題

- ・学生募集活動は適正に行っているが、職業人物像・職業意識まで正確に伝えられていない

### ② 今後の改善方策

- ・教育成果を高校の先生へ伝える
- ・広報担当部署との連携を強化していく
- ・広報活動をする際、業界説明や就職後の働き方、内容を更に詳しく伝えていく

### ③ 特記事項

- ・学納金は、教育研究費、人件費、施設管理費などを算出基盤としている
- ・学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上で決定している

### ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・募集活動は適切に行われているように感じる
- ・定期的に高校等を訪問し在校生、卒業生の状況を報告している点は評価できる
- ・就職先の決定だけでなく、在校生の変化なども伝える事が必要ではないか
- ・学納金は妥当な設定だと思われる

## (8). 財務

| 【評価項目】                   | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1 |   |   |   |
|--------------------------|------------------------------|---|---|---|
|                          | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか     | ④ | 3 | 2 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 財務について会計監査が適正に行われているか    | ④                            | 3 | 2 | 1 |
| 財務情報公開の体制整備はできているか       | ④                            | 3 | 2 | 1 |

### ① 課題

社会的なニーズに即した学校の設置・増加に伴って、今後は更なる業務の多様化に対応した体制強化と整備が必要と考える。

### ② 今後の改善方策

- ・制度に対応した合理化、システム化の推進に取り組んでいく。
- ・規模の増加に対応するための人材の育成

### ③ 特記事項

#### ○中長期的な財務基盤の安定について

- ・中期事業計画が策定され、当該計画は H25 年度に前倒しで完了している。
- ・生徒募集は堅調に推移し、予算も計画通り推移し財務基盤は安定している。

#### ○予算および収支計画の有効性、妥当性について

- ・予算・収支計画については、正確かつ適正な予算編成を行うことを目的として、毎年度、学校責任者が策定し、総務部と理事で構成する予算編成会議において原案を策定している。
- ・予算執行状況が当初予算と乖離する場合、予算編成会議において補正予算の原案を策定している。
- ・策定された原案については、理事長説明を経て、理事会・評議員会において目的と有効性が審議され、有効かつ妥当なものとなっており、決算書、予算書、事業報告書に反映している。

#### ○会計監査について

- ・私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。また、私立学校法第37条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。
- ・法人内部では総務部による内部監査を実施し、監事、公認会計と情報共有を行い、財務の正確性と業務執行状況について担保している。

#### ○財務情報公開について

- ・財務情報の公開については、私立学校法に基づく体制整備している。なお、財務内容についてはWEBで閲覧可能な状態となっている。また、事業報告書を作成し、時系列且つグラフを用いて第三者からも理解しやすい工夫を行っている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

※委員会開催時 27 年度決算が終了していなかったため 26 年度財務諸表を参照して財務情報を共有した

- ・財務状況は健全であり、安定した財務基盤を維持していることは評価できる
- ・適切な会計監査が行われており、且つ情報公開により透明性を保っている事は評価できる

## (9). 法令等の遵守

| 【評価項目】                     | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1  |   |   |   |
|----------------------------|-------------------------------|---|---|---|
|                            | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか      | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| 自己評価結果を公開しているか             | ④                             | 3 | 2 | 1 |

### ① 課題

- ・更なる法令遵守の推進

### ② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物等を通じて、すべての職員に法令順守に対する啓蒙を積極的に実施していく

### ③ 特記事項

- ・2014年度自己評価結果より公開を開始

### ③ 学校関係者評価委員会コメント

- ・自己評価の公開を開始した点は評価できる
- ・今後も個人情報を適切に保護していただきたい
- ・問題意識が高く、更なる向上が期待できる

## (10). 社会貢献・地域貢献

| 【評価項目】                                      | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1    |   |   |   |
|---|---------------------------------|---|---|---|
|   | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | ③ | 2 |
| 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 4                               | ③ | 2 | 1 |
| 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 4                               | ③ | 2 | 1 |

### ① 課題

- ・ボランティア活動を活性化させる
- ・地域に施設利用について周知がなされていない

### ② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動を積極的に進めていく
- ・提携企業との連携を強化する

### ③ 特記事項

- ・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ボランティア活動に参加する生徒を更に増やしてほしい
- ・ボランティア活動経験は関連分野以外であっても参加させ、体験させる機会を作って欲しい
- ・地域に対して公開講座や教育訓練を実施していただきたい

## (11). 国際交流(必要に応じて)

| 【評価項目】                          | 適切:4 ほぼ適切:3<br>やや不適切:2 不適切:1    |   |   |   |
|---------------------------------|---------------------------------|---|---|---|
|                                 | 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか | 4 | 3 | ② |
| 受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか | 4                               | 3 | ② | 1 |
| 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか         | 4                               | 3 | ② | 1 |
| 学内で適切な体制が整備されているか               | 4                               | 3 | ② | 1 |

### ① 課題

・留学生に対して、積極的な募集活動を行えていない現状がある

### ② 今後の改善方策

- ・留学生向けのホームページ上コンテンツの強化
- ・留学生に対する説明会、ガイダンスの実施回数を増加
- ・留学生に対する就職先の確保、母国の業界状況の把握、母国の就職斡旋等を強化する

### ③ 特記事項

・2014 年度から「留学生学費減免入学」制度を実施している

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・留学生募集を効果的に行える広報活動を考える必要がある

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成することを目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するだけでなく人間性を高める教育を併せて展開することを教育目標とし1年間取り組んできた。現場で活躍するための基礎力を資格・検定取得をベースに各学科で重点目標として掲げ、ほぼ目標通りの取得率を残した。最終的な就職決定率についても、97%とほぼ全員の就職を内定することができた。

心豊かな人間性を育むために学校生活において挨拶・マナー指導、行事を通しての自主性や主体性を引き出し高める機会を取り入れている。

課題としては、人材育成像を生徒が理解し、生徒自身の具体的な目標として目指す将来像を早い時期に合致させて、高いモチベーションを維持し続ける仕組みや体制を更に整備すること、課外活動やボランティア活動が希望すればできる状況を常につくっておくことがあげられた。